

## 7月9日：マーケットは軟調だったが、小売セクターのみ上昇

多くの銘柄が売られ、ベトナム株は2日続落となった。

その一方で小売りセクターが買われ、モバイル・ワールド・インベストメントの上昇が目立った。

ホーチミン市場のVN指数は2%安の1,347.14ポイントだった。同指数は週間で5%を超える下げとなった。

その一方で、ハノイ市場のHNX指数は2.93%安の306.73ポイントとなり、週間で6.6%下落した。

出来高は回復し、売買高は前日比28%増の8億8,640万株以上、売買代金は前日比22%増の28兆5,000億ドン（12億3,000万米ドル）となった。

業種別では全25セクターのうち24セクターが下落。そのうちプラスチック化学セクターは4.53%安と下落率でトップとなった。

それに続き、鉱業、農林水産業、証券業、金融業、建材業はそれぞれ3%を超える下げとなった。

モバイル・ワールド・インベストメント（MWG）は+2%と堅調で、小売業は+1.85%とセクターの中で上昇した。

またVN30指数採用銘柄の中でモバイル・ワールド・インベストメントは唯一上昇し、他の採用銘柄は28銘柄が下落、1銘柄が変わらずで引けた。

優良株にも売りが広がった。

ノバランド不動産投資グループ（NVL）が6.6%と値下がり寄与度でトップとなった。ビンホームズ（VHM）、ビンググループ（VIC）、ビンコムリテール（VRE）、ホアファットグループ（HPG）、ベトコムバンク（VCB）、ヴィエティンバンク（CTG）、ベトナム投資開発銀行（BID）、マサングループ（MSN）はそれぞれ1~3.5%下げ、マーケットの重しとなった。

「今後マーケットは小幅に推移し続け、VN 指数は節目である 1375 ポイントを挟んで推移する可能性がある」（元大証券ベトナム）

「マーケットは値固めの段階に入っていることを示しており、投資資金は引き続き大型株に集まるだろう。さらに短期的な株価は静観を超えた水準まで大きく下落しており、自律反発する可能性があることを示している」（同社のアナリストレポート）  
だが、外国人投資家は合わせて 7,930 億ドルを両市場（ホーチミン、ハノイ市場）で買い越した。

---

### ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。